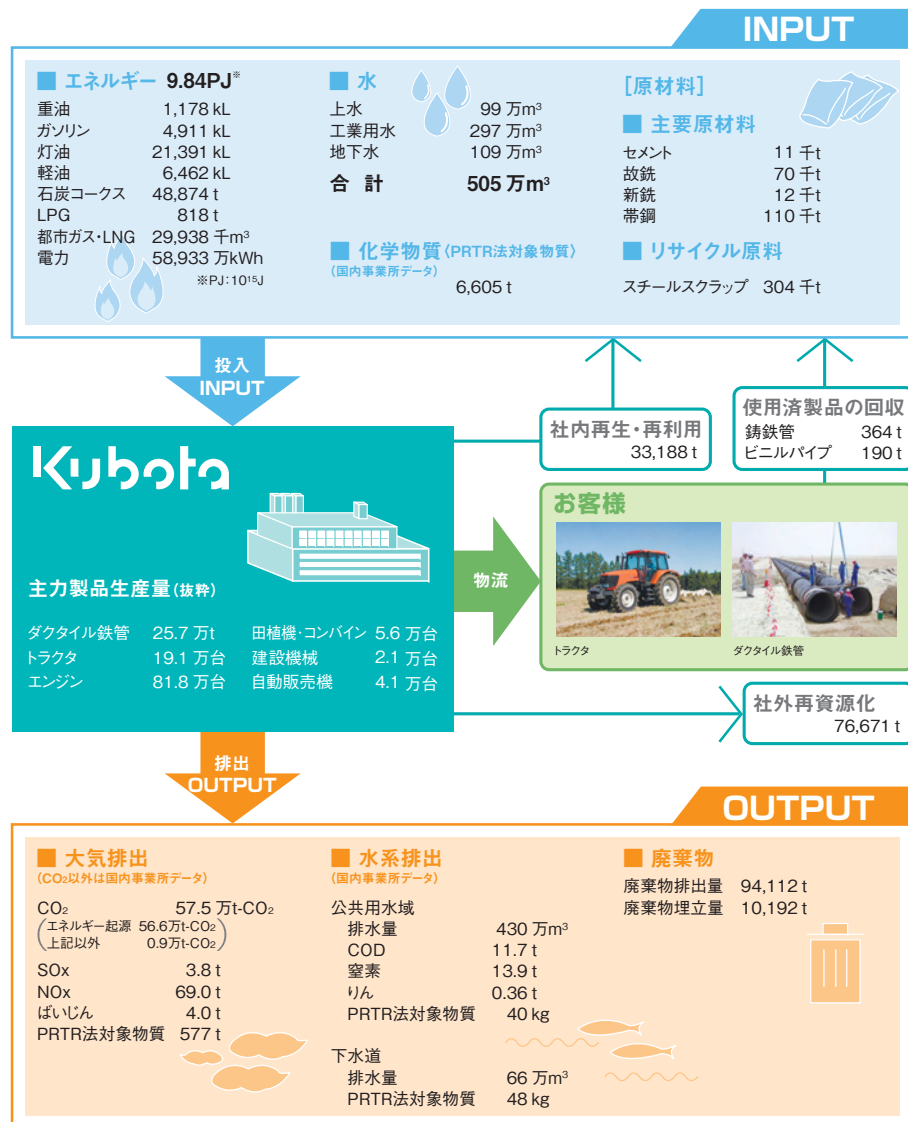


クボタグループの事業活動と環境負荷の全体像

クボタグループの国内外の多様な事業活動において発生する環境負荷の状況と全体像をまとめました。環境負荷の把握と分析を行い負荷低減と環境効率の向上に取り組んでいきます。

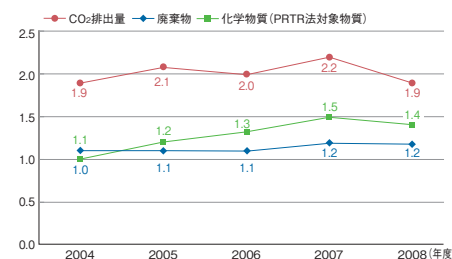


▶ 主要な環境指標の推移

環境指標		単位	報告対象期間					
			2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	
INPUT		総エネルギー投入量※1	PJ	9.64	9.58	9.78	9.62	9.84
		水資源投入量※1	万m³	568	567	534	537	505
		PRTR法対象物質採取量※3	t	7,740	7,762	8,533	8,751	6,605
OUTPUT	大気排出	CO₂排出量※1	万t-CO₂	51.3	51.5	55.2	53.6	57.5
		SOx排出量※4	t	24.2	49.7	29.3	8.6	3.8
		NOx排出量※4	t	75.5	222.3	133.9	80.6	69.0
		ばいじん排出量※4	t	15.3	10.7	7.1	3.7	4.0
		PRTR法対象物質排出量※3	t	791	660	631	580	577
	水系排出	排水量※3	万m³	447	409	452	456	430
		COD排出量※5	t	13.9	11.8	15.8	15.5	11.7
		窒素排出量※5	t	8.8	9.5	11.0	14.3	13.9
		りん排出量※5	t	0.24	0.27	0.32	0.45	0.36
		PRTR法対象物質排出量※3	kg	35	41	151	170	40
	下水道	排水量※3	万m³	71	90	85	73	66
		PRTR法対象物質排出量※3	kg	8.5	14	56	115	48
	廃棄物	廃棄物排出量※2	万t	9.2	9.4	9.8	9.3	9.4
		廃棄物埋立量※2	万t	0.28	0.20	0.60	0.70	1.02

※1 海外事業所データを含んでいます。
※2 2006年度以降、海外事業所データを含んでいます。
※3 国内事業所データです。
※4 国内における大気汚染防止法に基づき発生施設からの総排出量です。
※5 国内における総量規制対象事業所からの総排出量です。

▶ 環境効率指標



※ CO₂の環境効率指標 = 連結売上高(百万円) ÷ CO₂排出量(t-CO₂) (クボタグループ)
※ 廃棄物の環境効率指標 = 連結売上高(百万円) ÷ 廃棄物排出量(kg) (2004～2005年度: 国内クボタグループ、2006年度以降: クボタグループ)
※ 化学物質の環境効率指標 = 連結売上高(百万円) ÷ PRTR法対象物質排出移動量(kg) (国内クボタグループ)

CO₂排出量・廃棄物排出量・PRTR法対象物質排出移動量を環境負荷とした環境効率は、売上高の減少等により、昨年度に比べて低下しました。

▶ 環境経営対象グループ会社の拡大

国内外の全連結子会社を環境経営の範囲に取り入れるよう、計画的に推進していきます。

「主要な環境指標の推移」「サイトデータ」の詳細は下記ホームページをご覧ください。
<http://www.kubota.co.jp/siryou/csr/index.html>

【対象グループ会社比率】

